

キャラクター名

阿笠 博士

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	教授
	ソラリス					
オプショナル			年齢	42	性別	男
覚醒	渴望	衝動	妄想		初期侵食率	31 %
出自	資産家	経験	無限回廊		邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	1			1	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	2	0	0	1		3	戦闘移動	10
社会	6	1	1	3		11	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C			交渉	7	
回避			知覚			意志	2		調達	7	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド		-1	12	0		装備
		0				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
すごい服	16	1			装備している間、<交渉>判定の達成値+2

所持品		合計装甲：		1	合計回避：		0
携帯電話		ロイス					
アクセサリ(時計)		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
カジュアル		超血統	P	N			
フォーマル		売人(しまったば)	P	慈愛	N	嫌気	
モバイルPC		神代早月	P	執着	N	憤懣	
自動巡回ソフト			P	N			
			P	N			
			P	N			
			P	N			
			P	N			
		最大財産P:		36	残り財産P:		1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
狂戦士	7	5	MJ	視界	単体	自動成功	80	
効果：メジャーアクションの判定のクリティカル値を-1し、さらにその判定のダイスを+[LV×2]する								
女王の降臨	3	5	SET	至近	自身	自動成功	277アドリブ成功	
効果：「タイミング：MJ」かつ「難易度：自動成功」のソラリスのエフェクトを使用する。								
帰還の声	1	6	オート	視界	単体	自動成功	277アドリブ成功	
効果：使用回数制限のあるエフェクトひとつのエフェクトを1回復する								
ポイズンフォッグ	3	2	MJ(他シンドローム)	至近	範囲(選択)	-	シナリオLV回	
効果：組合わせたエフェクトを「射程：至近」「対象：範囲(選択)」にする								
戦乙女の導き	5	2	MJ	至近	単体	自動成功(RC)		
効果：メジャーアクションのダイスを+LV個、攻撃の場合攻撃力+5する								
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体	自動成功	100	
効果：対象が戦闘不能になった時に使用する。対象は戦闘不能を復活し、HPを[LV×5]まで回復する。このエフェクトはあなたを対象にできない。								
命の盾	1	3	RA	至近	自身	<交渉>		
効果：エフェクトを組合わせた判定でドッジを行える								
コンセントレイト	3	2	シンドローム	-	-	-		
効果：CR値 -Lv (下限7)								
絶対の恐怖	1	3	MJ	視界	単体	<交渉>		
効果：「攻撃力+LV」の射撃攻撃。装甲無視								
リフレックス	1	2	RA					
効果：CR値 -1								
竹馬の友	1	-	MJ	視界	単体	自動成功		
効果：幻覚物質によって対象の認識を攪乱し、その信頼を得るエフェクト。対象はあなたを信頼できる友として思いこんでしまう。この効果はエキストラのみにしか効果はない。また、GMの判断により<交渉>の判定を行わせてもよい。								
声無き声	1	-	MJ	視界	単体	自動成功		
効果：幻覚伝達物質を媒介にして、みずからの思念を離れた場所にいる誰かに伝えるエフェクト。相手の考えていることも、相手が心を開いてくれたなら聞くことができる。GMが必要と感じたなら<RC>による判定を行わせてよい。								
虹の香り	1	-	MJ	視界	シーン	自動成功		
効果：特定のにおいを発生させる化学物質を作り出すエフェクト。使用することでシーンを望むにおいで満たすことができる。GMは状況により、効果の範囲を制限してもよい。GMは必要と感じたなら<RC>の判定を行わせてもよい。								